

平成22年度一般会計決算 単年度での収支は赤字

9月定例議会は9月1日に開会し、8日、9日、12日に一般質問（計10人）、22日に議案審議が行われました。

また、平成22年度の決算特別委員会が13日から15日まで行われ、一般会計決算特別委員会は、平成22年度決算の単年度収支と実質単年度収支が赤字となっていることを指摘しました（3ページの(3)参照）。

●村長提出議案等

今回は、3億7856万7000円を増額した平成23年度一般会計補正予算等の補正予算9件、東海村災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例等の条例改正3件、工事請負契約の締結（中央地区中央都市下水道整備工事）、合計13件の議案について

慎重に審議し、すべて原案どおり可決しました。

また、寄附の受入れ等の報告6件、人権擁護委員の人事案件をすべて承認・同意しました。

さらに、平成22年度の一般会計歳入歳出決算、国民健康保険事業等の特別会計歳入歳出決算9件、水道事業会計歳入歳出決算、病院事業会計歳入歳出決算については、すべて認定しました。

●委員会提出議案

文教厚生委員会（舛井文夫委員長）から提出された、少人数学級の推進や教育機会の均等などを求めた「教育予算の拡充を求める意見書について」は原案どおり可決され、国の関係省庁に提出されました。

決算特別委員会 // 一般会計、翌年度への繰越額は2万円

一般会計決算特別委員会および特別会計決算特別委員会は、担当課室から平成22年度の決算や事業結果について説明を受け、議論しました。

平成22年度一般会計決算額は歳入172億6376万1000円、歳出170億8682万5000円でした。左の財政収支状況表からも分かるように実質収支額が前年度と比べ大幅減となりました。これは翌年度への繰越額が大きく減り、繰越額になったということです。

●● 財政収支状況表 ●●

(単位：円)

年度区分		平成22年度	平成21年度
項目			
歳入総額	(A)	17,263,760,902	19,996,482,406
歳出総額	(B)	17,086,824,472	19,160,189,527
形式収支額	(A-B)(C)	176,936,430	836,292,879
翌年度に繰越すべき財源	継続費次繰越額	4,131,280	26,995,000
	繰越明許費繰越額	56,027,000	166,800,000
	事故繰越額	116,757,902	0
	計	176,916,182	193,795,000
実質収支額	(C-D)(E)	20,248	642,497,879
前年度実質収支額	(F)	642,497,879	514,678,094
単年度収支額	(E-F)(G)	△642,477,631	127,819,785
財政調整基金積立金	(H)	662,351,000	623,299,000
繰上償還金	(I)	0	0
財政調整基金取崩額	(J)	211,313,000	0
実質単年度収支額	(G+H+I-J)	△191,439,631	751,118,785